

商工企業調査報告書

報告日：20XX年XX月XX日

ご依頼資料

ご依頼番号：120212XXXX
 ご依頼調査商号の番号：C1220132
 ご依頼商号：XXXXX 有限公司

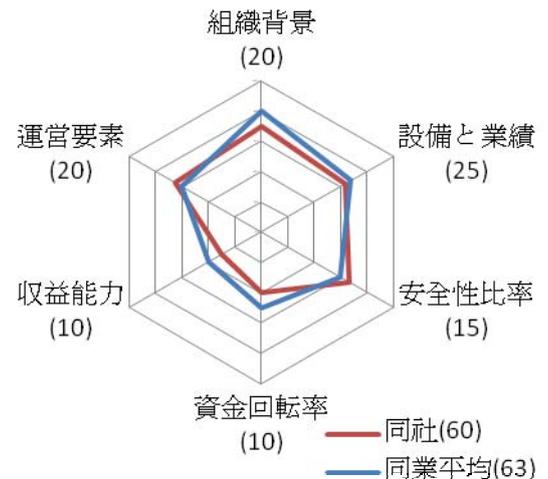
概要

信用等級： B
 財務早期警戒スコアリング： M3
 中文社名： XXXXX 有限公司
 英文社名： XXXXX XXXXXXXXXXXX CO., LTD.
 見通し： 横ばい

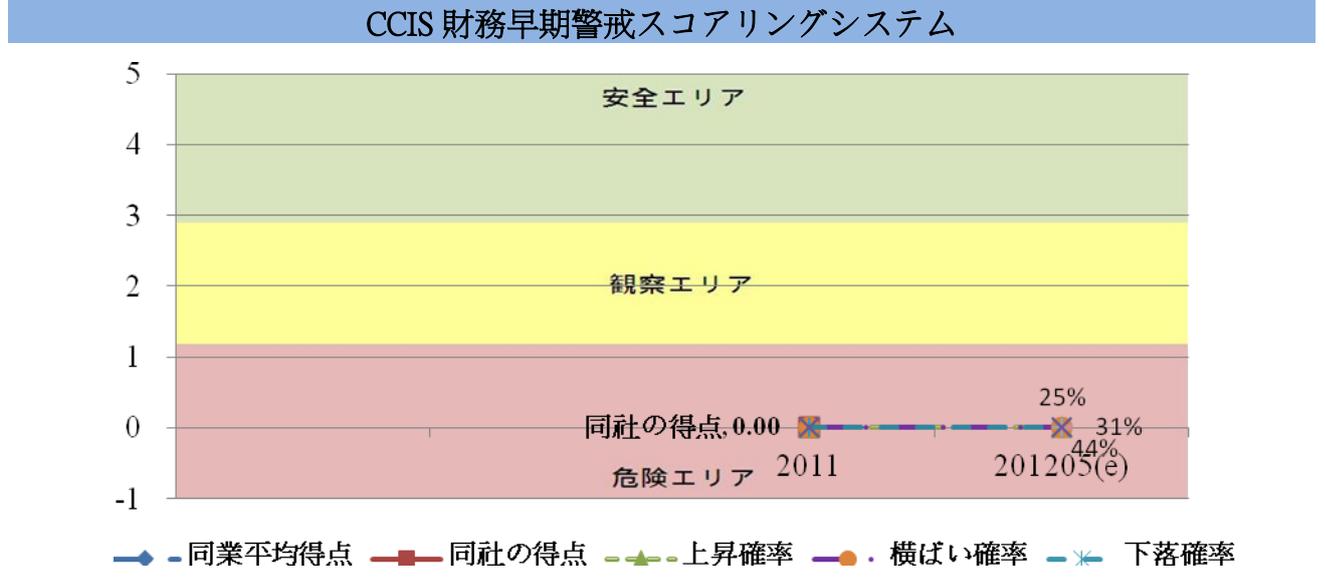
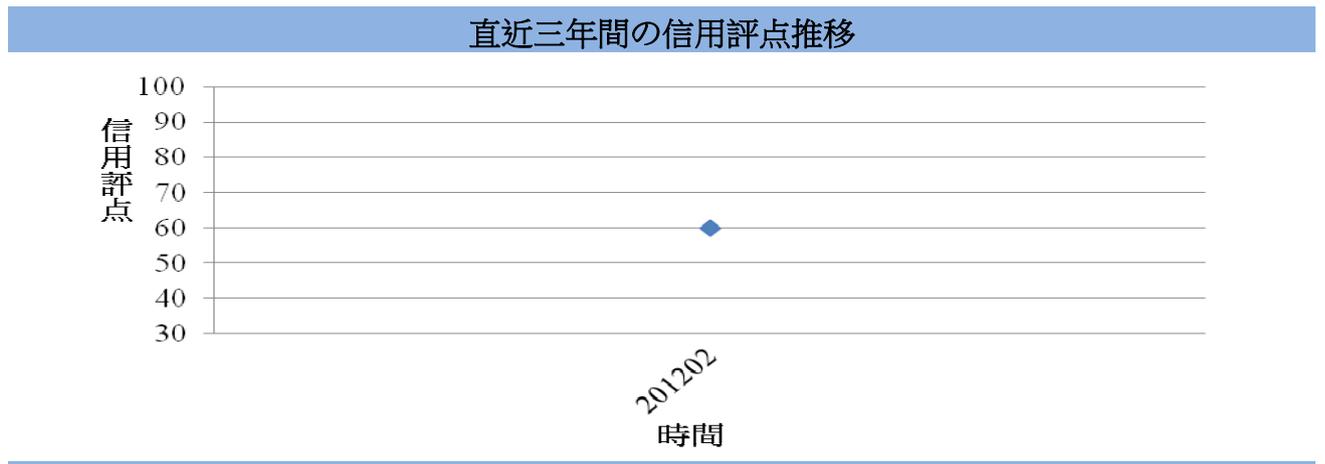
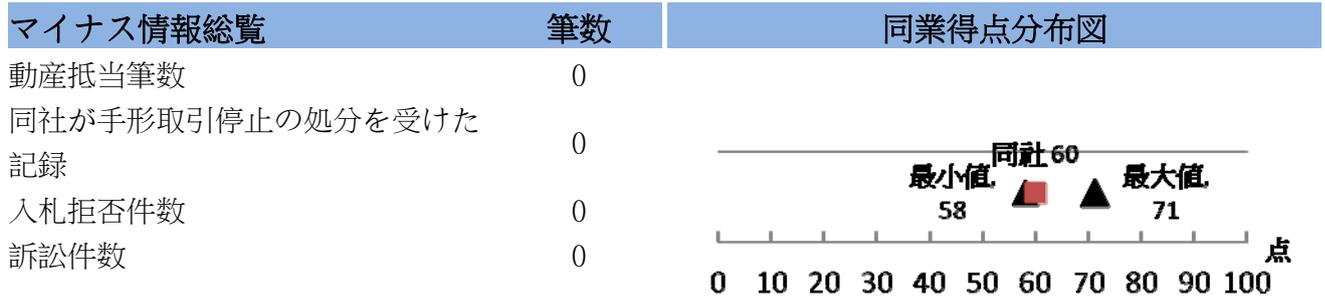
信用評点

評点項目	評点標準	得点	同業平均得点
管理要素			
組織背景及び経営者能力	1~20	14	16
設備及び業績	1~25	16	17
財務要素			
安全性比率(財務構成及び返済能力)	1~15	10	9
資金回転能力	1~10	4	5
収益能力	1~10	3	4
運営及び環境要素			
現況	1~10	7	6
取引状況	1~5	3	3
見通し	1~5	3	3
合計	100	60	63

同業平均得点レーダー図



注：同業者の平均点数は最近六ヶ月間の被調査企業の平均点数を採用し、当企業が所属する産業によって異なる。



注、CCIS 財務危機予測採点システムは、同社の過去3年間の財務パフォーマンスによって採点したものである。また、同社の現在の各項目データによって、これから3ヵ月の財務状況を予測する。そのほか、中華徴信所『財務総分析』同業平均得点を入れ、3年間の変化を比較する。

金融保険業、証券先物業、投資業、不動産業、リースと分割払い業、機関団体及びオフショア企業は、特殊な性質のため、CCIS 財務早期警戒スコアリングシステム図表を作製しない。

基本資料

中文社名： XXXXX 有限公司

英文社名： XXXXX XXXXXXXXXXXX CO., LTD.
 登記面住所： 台中市 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 号
 英文登記面住所： No. XXX, XXX Rd., XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX, Taiwan, R.O.C.
 連絡住所： 台中市 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 号
 英文連絡住所： No. XXX, XXX Rd., XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX, Taiwan, R.O.C.
 URL： www.XXXyec.com.tw
 E-MAIL： XXXXX@mail.XXXXX.com.tw
 TEL： 04-XXXX-XXXX
 FAX： 04-XXXX-XXXX
 営利事業統一番号： 80XXXXX
 登記当局： 經濟部中部事務室
 払込済資本金： NT\$ 306,000千
 法定代理人： XXX
 従業員数： 約100名
 設立期日： 20XX年02月XX日
 業種： 製造業(受動電子部品業)
 NACE CODE： 2611(電子部品の製造)
 SIC CODE： 3675(電子コンデンサー)
 企業型態： 中型企業

工場または支店

実際営業住所と工場 台中市 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 号
 工場登記証 9XXXXXX
 TEL 04-XXXX-XXXX
 FAX 04-XXXX-XXXX

会社沿革

社名は設立以来、変更なし。

現在の営業項目

エネルギー用スーパーコンデンサの製造販売

資本金推移状況(NT\$ 千)

時間	登記資本金	払込済資本金
20XX年11月	306,000	306,000

法人形態

法人形態： 非同族企業

取締役・監査役

役職名	氏名	投資額(NT\$ 千)	持株比率(%)	注記
会長	XXX	1,665	0.54	
取締役	XXX	4,290	1.40	
取締役	XXX	8,183	2.67	
取締役	XXX	5,475	1.79	
取締役	XXX	6,750	2.21	
監査役	XXX	7,193	2.35	

主要経営者：（会長及び社長など）

創設者	XXX
会長	XXX
性別：	男
生年月日：	19XX年
出身地：	台湾省台中市
学歴：	高校卒業
従業経験：	40 数年
創設者との関係：	本人
実際に同社の経営に参画	している
社長	XXX
性別：	男
生年月日：	19XX年
出身地：	台湾省台中市
学歴：	修士
従業経験：	10 数年
創設者との関係：	親子
実際に同社の経営に参画	している

上記資料は同社の経理担当の王氏(女性)、業務部長の林氏(男性)により入手したものである。

注：主要な経営者がもし会長職務を担当する企業については主要関係企業欄を参照してください。

主要設備

実際営業住所と工場	
土地：	5,024.82m ²
	同社の営業所には合計 計 4 筆の土地番号がある。そのうちの 錦州 区間の土地番号 06260000 は確かに同社名義所有である。
	他の項目に関連する権利登記は計 1 件。
建物：	1,706.54m ²

同社の営業所は合計で、計5筆の建物番号がある。そのうちの錦州区間の建物番号00618000は確かに同社名義所有である。

他の項目に関連する権利登記は計1件。

上記の財産権資料は各県市の土地行政処局/同社の経理担当の王氏(女性)より提供されたものである。

注：1.以上の資料は保存登録が行われた物である。

2.それぞれの県市土地行政ネット閲覧日：20XX年02月15日。

同一営業所に複数の建物と土地の登記番号が存在するため、別々に査証することができない。ここではそのうちの一つの資料を提供する。

動産の担保設定記録

調べによると、これまでに同社は動産で抵当設定した記録は無い。

以上の資料は經濟部中部事務室、台北市地方自治官庁、高雄市地方自治官庁関連管理機関の公告資料に基づくものである。

直近三年間の売上高：(単位：NT\$ 千)

項目	20XX年	%	20XX年	%	20XX年	%
国内外販売	154,000	100.00	145,000	100.00	127,000	100.00
合計	154,000	100.00	145,000	100.00	127,000	100.00
伸び率	6.2	%	14.17	%	-	%

20XX年01月至20XX年12月全期の販売状況：(単位：NT\$ 千)

主要商品	金額	%
コンデンサ	154,000	100.00

20XX年01月至20XX年01月の売上高：(単位：NT\$ 千)

提供されていない

主要原料・商品の仕入先：(国内)

アルミハウジング

仕入先： XXXX(股)
 事業統一番号： XXXXXX
 代金支払状況 契約に基づく100%
 全体の仕入に占める比率 % NA

アルミハウジング

仕入先： XXXX(股)
 事業統一番号： XXXXXX
 代金支払状況 契約に基づく100%

全体の仕入に占める比率 % NA

ピン

仕入先： XXXX(股)
 事業統一番号： XXXXXXX
 代金支払状況 契約に基づく100%
 全体の仕入に占める比率 % NA

主要原料・商品の仕入先：(国外)

炭素箔

仕入先 アメリカ

全体の仕入に占める比率 % NA

アルミハウジング

仕入先 中国

全体の仕入に占める比率 % NA

ピン

仕入先 日本

全体の仕入に占める比率 % NA

海外の支払条件：T/T100%。

主要商品販売状況：(国内)

コンデンサ

納入先：	取次販売代理業者
代金受取状況	契約に基づく100%
延滞状況	NA
延滞時間	NA
全体の販売に占める比率 %	NA

主要商品販売状況：(国外)

コンデンサ

輸出先	ヨーロッパ
全体の販売に占める比率 %	NA

コンデンサ

輸出先	アメリカ
全体の販売に占める比率 %	NA

コンデンサ

輸出先	中国
全体の販売に占める比率 %	NA

コンデンサ

輸出先	東南アジア
全体の販売に占める比率 %	NA

海外の回収条件：T/T100%。

主要取引銀行

台湾銀行 XX 支店

口座番号：	手形口座番号を提供無し、統一番号で照会
開設期日：	20XX年03月12日
取引状況：	正常
電話：	04-XXXX-XXXX

XXXX 銀行 XX 支店

口座番号：	手形口座番号を提供無し、統一番号で照会
開設期日：	20XX年03月12日
取引状況：	正常
電話：	04-XXXX-XXXX

手形取引記録

同社は手形取引において、手形取引停止の処分を受けた記録は無い。
 会長は手形取引停止の処分を受けた記録は無い。

同社の林明德氏と同姓同名の人は133回不渡り記録があるが、同一人物かどうかは判明しない。

資料有効期日：20XX年02月10日

注：上記の情報は、あくまでも参考としてご利用下さい。単に信用調査としての参考資料である。ただし、被調査対象は後になって取引手形停止させられた処罰記録を削除することがあり、また、資料の出所と時期更新の規制、もしくは未完備の場合がある。もし最新の手形信用についての査証資料が必要な場合、直接台湾手形交換所にお問合せ頂くか、また中華徵信所にご依頼頂ければ、調査することも可能である。

入札拒否された記録

同社は 20XX 年 01 月 01 日以降政府機関に入札拒否された記録は無い。
以上の資料は管理機関の公告資料に基づくものである。

訴訟記録

同社についての直近 2 年以内の訴訟裁判記録は無い。
上記内容は「司法院」の告示資料に基づき、参考として提出したものである。

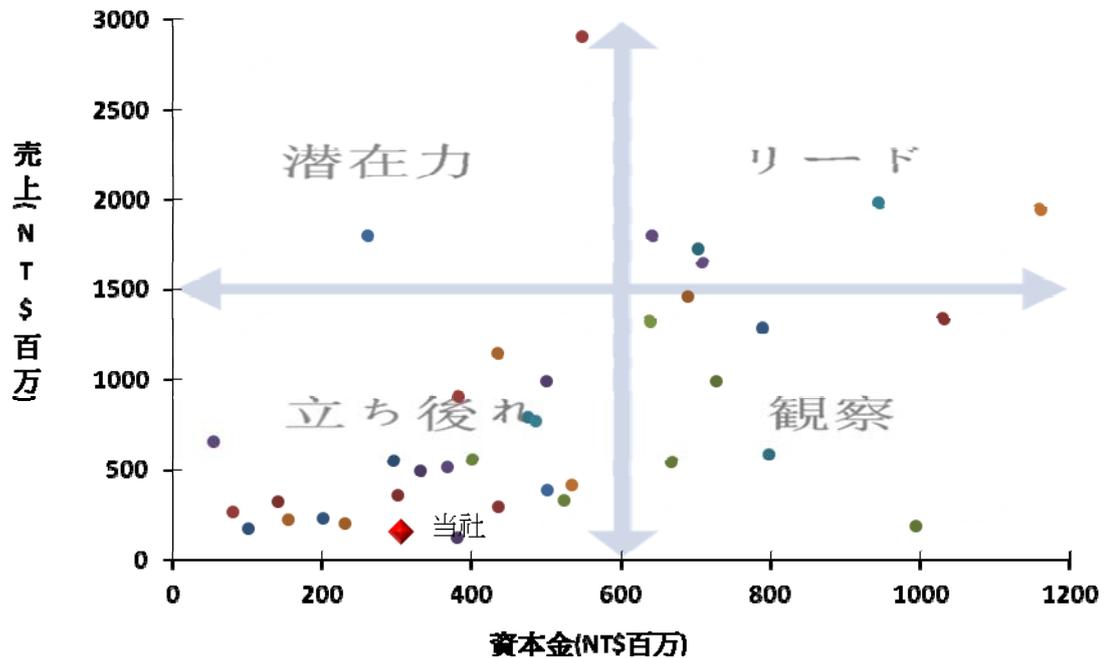
特許許可済み記録

調べによると、これまでに同社は特許許可された記録がない。
以上の資料は管理機関の公告資料に基づくものである。

産業効率のランク

産業コード：121100(受動電子部品業)
台湾トップ企業にランクされた企業数(TOP5000)： 5,000 社
上記ランキングで、製造業の企業数(TOP5000)： 2,650 社
上記ランキングで、製造業のうち受動電子部品業の企業数： 55 社
上記受動電子部品業の中での同社の順位：--

産業効率分布図



輸出入実績

	20XX年	20XX年	20XX年
輸出実績(百万米ドル)	2-3	1-2	0.5-1
輸入実績(百万米ドル)	0.5-1	0-0.5	0.5-1

資料出所：輸出入実績：経済部の「輸出入実績優良メーカーリスト」。

財務概況：(NT\$千)

20XX年12月31日	
払込済資本金	306,000
正味資本	313,300
負債総額	208,700
資産総額	522,000
営業期間	20XX/01~20XX/12
売上高	154,000
営業利益	4,300
当期利益	2,300

注：20XX年の財務概況について、売上高データは同社より提供された資料である。その他のデータは推計されたものである

産業の財務指標

産業コード：121100(受動電子部品業)

項目	各種財務比率	20XX 年産業中位数
財務構成	資産に占める負債の比率(%)	27.22
	固定資産に占める長期資金の比率(%)	650.25
返済能力	流動比率(%)	205.01
	当座比率(%)	162.66
経営能力	利息保障倍数(回)	43.66
	未収金回転率(回)	3.87
	平均回収日数	95.65
	棚卸資産の回転率(回)	8.57
	平均売上日数	42.96
	固定資産回転率(回)	5.52
	総資産回転率(回)	0.69
	未払金回転率(回)	6.35
	平均支払日数	58.00
	収益性	総資産利益率(%)
資本利益率(%)		10.36
営業利益率(%)		6.66
払込資本に占める税引前純利益の比率(%)		20.71
純利益率(%)		11.81
現金流量	キャッシュフロー比率(%)	23.53
	現金再投資比率(%)	3.50

上記の資料出所は中華徴信所「20XX 年出版台湾地区商工業財務総分析」の資料によるものである。

マスメディアの重大ニュース

調査によると、同社はここ2年、マスコミによるマイナス報道が無い。

総合分析

一、産業動向

受動部品

欧米債務信用危機の影響を受け、全世界景気が悪化した。端末需要が不明であるため、20XX 年第3 四半期に在庫調整を行った。第4 四半期に中国国慶節連休の関係で、繰り上げて製品を調達した。しかし、調達量が多くない。受注量が減ったため、第4 四半期に受動部品メーカーの生産能力稼働率が低下し続ける。また、第4 四半期に MLCC の価格交渉が行われたが、依然として値下がりした。平均すれば、下落幅は 3%-5%。

全体的に見れば、20XX 年第4 四半期に需要が低下した。しかし、関連業者の見方によると、20XX 年に超軽薄ノートパソコン Ultrabook の発売がもたらす効果が高いと思われる。メーカーによると、Ultrabook の超軽薄応用は 0402、0201 と 01005 等の小型化製品の応用を

促すと見込まれる。また、使用量の増加は、価格と出荷量の安定性に役立つ。しかし、景気の見通しが不透明であるため、20XX年第1四半期の経営状況に対して、多数のメーカーは保守的な見方をする。

二、財務状況及び返済能力

同社の20XX年度財務概況によって表される。

財務安全性：

自己資金は経営需要に対応でき、借入金依存度は概ね許容できる範囲内にある。財務構成は特に問題が無い。

資金回転能力：

正味資本回転率は0.49回で、自己資本回転率がまだ理想的ではない。資金回転力は思わしくない。

収益能力：

製品の粗利益は高くない。かつ、販売管理費の制御能力は理想的ではない。当期の収益はわずかである。

三、現況及び見通し

事業内容：

同社はエネルギー用スーパーコンデンサの製造販売業務に従事している。生産に必要なとする原材料を国内関連メーカーより調達する部分があるし、アメリカ、中国と日本などから輸入する部分もある。現在、約20%の製品を国内市場に供給しており、主に各地における取次販売代理業者を通して販売している。その他の約80%をヨーロッパ、アメリカ、中国と東南アジア等に輸出している、欧米市場は大きな比率を占める。

会社の特色：

同社の責任者の林添丁は 19XX 年に XXXXX(股)を設立し、電解コンデンサの製造販売に従事していた。その後、スーパーコンデンサ業務を発展するために、20XX 年に同社を設立して、XXXXX(股)を合併し、解散した。現在、同社は XXXXXX(股)の元来の工場と設備を受け取り、欧米スーパーコンデンサ製造大手メーカーMaxwell と技術提携を行い、スーパーコンデンサの製造を専門とする工場である。

今後の見通し：

設立されてから現在まで、同社は輸出業務の開拓を強化するため、経営状態が安定すると言える。近年、業績が成長し続ける。同社によると、今後、継続的に設備を増加し、生産能力と製品品質を向上させ、高付加価値製品の開発に力を入れ、新しい業務分野を進展し、業績と利益を創造することが期待される。現在ある製造販売基盤に基づいて、同社はこれからも横ばいを維持できると見込まれる。

各項経済指標

経済指標

項目/年度	20XX	20XX	20XX	20XX
経済成長比率(%)	0.73	-1.93	10.88	4.03(a)
人口数(人)	23,037,031	23,119,772	23,162,123	23,224,912(d)
GNP(億ドル)	4,101	3,899	4,432	4,815(b)
人口平均数 GNP(ドル)	17,833	16,895	19,155	20,771(c)
通貨膨脹(消費者物価指数年間増加率%)	3.53	-0.87	0.96	1.42(e)
失業率(%)	4.14	5.85	5.21	4.39(f)

資料出所：行政院主計所、中央銀行

注：(a,b,c)予測;(d)12月;(e,f)1-12月

手形の取引概況

項目/年度	20XX	20XX	20XX	20XX
貯金不足、不渡り枚数	511,639	360,291	228,061	200,365
枚数比率(%)	0.38	0.30	0.19	0.17
貯金不足、不渡り金額(NT\$百万)	136,783	93,370	62,584	69,827
金額比率(%)	0.66	0.53	0.33	0.36

資料出所：行政院主計所、中央銀行

注：20XX/1-12月

対外の貿易

項目/年度	20XX	20XX	20XX	20XX
輸出額(US\$百万)	255,629	203,698	274,643	308,299
輸出年増加率(%)	3.63	-20.30	34.80	12.30
輸出額(US\$百万)	240,448	174,663	251,395	281,605
輸入年増加率(%)	9.67	-27.40	44.20	12.10
輸出注文(US\$百万)	351,728	322,432	406,720	436,130
輸出注文の年増加率(%)	1.70	-8.30	26.10	7.23

資料出所：財政部統計所

注：20XX/1-12月

説明事項

一、企業形態ランク

企業別/項目別	払込済資本金	売上高	従業員	
			製造業	その他
超大型企業	3,000,000 千円以上	10,000,000 千円以上	5,000 人以上	500 人以上
大型企業	3,000,000 千円未満	10,000,000 千円未満	5,000 人未満	500 人未満
	500,000 千円以上	1,000,000 千円以上	1,000 人以上	150 人以上
中型企業	500,000 千円未満	1,000,000 千円未満	1,000 人未満	150 人未満
	80,000 千円以上	100,000 千円以上	200 人以上	50 人以上
中小型企業	80,000 千円未満	100,000 千円未満	200 人未満	50 人未満
	5,000 千円以上	10,000 千円以上	10 人以上	5 人以上
小型企業	5,000 千円未満	10,000 千円未満	10 人未満	5 人未満

注：1.企業形態ランク

- (A) 製造業-登録資本金、従業員及び売上高項目の中で最高のものが評価項目として選択される
 (B) その他は上列三項目のうち、二項目が一致するものを採用
 2.個人企業の評価項目においては、売上高のみが評価基準となる

二、信用格付け評価標準比率

管理ファクター	組織背景と経営能力	45
	設備と売上高	
財務ファクター	財務安定性	35
	資金繰り能力	
	収益能力	
経済ファクター	取引状況	20
	現況	
	見通し	
合計		100

注：1、企業もしくは経営者に好実績或いは手形取引停止記録のある場合は組織背景と経営者能力欄で加減するが、限度は10ポイント以内とする。

2、創業後1年未満、業務停止、信用調査資料が完備しない場合、信用格付けを与えない。

三、企業信用格付け評価ランク

AA	90~100	信用状態は大変良好であり、取引に問題はない。
A	80~89	信用状態は良好であり、現在の状況において取引に問題はない。
B+	70~79	信用状態は良く、現在の状況において通常の取引に問題はない。
B	60~69	信用状態は普通であるが、保証又は条件付きでの取引が望まれる。
B-	50~59	信用状態は普通であるが、大口の取引には注意を要する。
C	30~49	信用状態は芳しくなく、どのような取引にも注意を要する。
C-	0~29	信用状態は悪く、取引は避けるべきである。

台湾企業信用調査レポート CCIS リスク指数		
安全エリア	L1	1.取引量を 21～30%増やすことができる。
		2.与信限度額を 21～30%増やすことができる。
		3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額をその他の取引先より 21～30%増やすことができる。
	L2	1.取引量を 16～20%増やすことができる。
		2.与信限度額を 16～20%増やすことができる。
		3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額をその他の取引先より 16～20%増やすことができる。
	L3	1.取引量を 11～15%増やすことができる。
		2.与信限度額を 11～15%増やすことができる。
		3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額をその他の取引先より 11～15%増やすことができる。
観察エリア	M1	1.取引量を 6～10%増やすことができる。
		2.与信限度額を 6～10%増やすことができる。
		3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額をその他の取引先より 6～10%増やすことができる。
	M2	1.取引量を 5%増やすことができる。
		2.与信限度額を 5%増やすことができる。
		3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額をその他の取引先より 5%増やすことができる。
M3	1.取引量を変更しない。	
	2.与信限度額を変更しない。	
	3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額を同規模の取引先と同等にする。	
危険エリア	H1	1.取引量を 20～30%減らすべきである。
		2.与信限度額を 20～30%減らすべきである。
		3.初めての取引であれば、調査先との取引量と与信限度額をその他の取引先より 20～30%減らすべきである。
	H2	1.取引量を 30%以上減らすべきである。また、状況によって取引を中止する。
		2.与信限度額を与えない。
		3.初めての取引ではないなら、権益を確保するために、速く取引方式を変更する。
H3	1.現金前払い以外の取引をしないほうがいい。	
	2.与信限度額を与えない。	
	3.初めての取引ではないなら、速く取引方式を変更し、債権を回収する。	
NA	信用リスクが不明である。取引には慎重を要する。	